

JST ERATO百生量子ビーム位相イメージングプロジェクト 中間シンポジウム

～量子ビームの位相を使って見えない世界を観る～

日時：2018.3.27 (火) 13:30 ～ 28 (水) 17:15

場所：仙台国際センター 3F 白樺1・2 (<http://www.aobayama.jp>)

(受付開始：27日12:30～，技術交流会：27日18:30～20:00)

※参加費無料（技術交流会参加（有料）及び28日昼食（有料）について事前申込が必要です。）
※事前参加申込：asao.nakano.a6@tohoku.ac.jp 宛に参加者の氏名，連絡先，技術交流会（参加費4,000円）
参加の有無，28日昼食（600円）要否をご連絡ください。締切：3月9日（シンポジウムは当日参加も可）

趣旨

2015年2月に開始したJST-ERATO百生量子ビーム位相イメージングプロジェクトでは、位相コントラスト光学系とデジタル画像計測技術を活用することにより、量子ビームの位相情報を定量的に可視化する、高感度で高機能のイメージング手法を開発しています。X線を用いた位相イメージング技術のフロンティアをさらに押し広げるとともに、中性子線や電子線など、他の量子ビームを用いる位相イメージング開発を展開しております。今回の中間シンポジウムでは、5件の招待講演とともに、この3年間の成果について報告致します。

シンポジウム内容

来賓挨拶： 大濱 隆司 (科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部 部長)

研究総括報告： 百生 敦 (東北大学多元物質科学研究所)

招待講演： 進藤 大輔 (東北大学多元物質科学研究所)

Ge Wang (Rensselaer Polytechnic Institute, USA)

大竹 淑恵 (理化学研究所)

松尾 光一 (慶応義塾大学)

Jürgen Mohr (Karlsruhe Institute of Technology, Germany)

各研究グループからの報告（口頭発表、ポスター発表）

※最新プログラムは <http://www.jst.go.jp/erato/momose/> をご参照ください。